

全日赤



No2013-02

給食問題対策ニュース

2014.02.14

第17回給食部門全国交流集会開催

2月12日(水)13:30から2月13日12:00にかけて医療労働会館で、第17回給食部門全国交流集会を開催し、8単組本部含め14名が参加し、全国から管理栄養士や調理師が集まりました。

集会初日には、講師に大田敏雄医労連給食対策委員を招き「クックチル、ニュークックチル等のメリット、デメリットと組合の対応」と題した学習会を行いました。学習会では、クックチルやニュークックチルがどのような物であり、メリットデメリットがどうであるかや、病院給食の動向や衛生管理、各地で行われているセンター化の動き等についてを講演していただきました。

翌日は、映画「モンサントの不自然な食べもの」を視聴。遺伝子組み換え食品の危険性や、アメリカのアグロバイオ企業「モンサント社」が行っている数々の悪行等が描かれたドキュメンタリー映画です。世界で実際に起こっている遺伝子組み換え食品の現状や多国籍大企業による利益追求の為なら何をしても良いという姿勢が浮かび上がりました。その後は、各単組の現状報告が行われ、次回日程も確認しました。次回は、10月3日(金)13:30-4日12:00まで。場所は決まり次第お知らせします。



各単組からの報告

【福島】

去年の10月から調理師が盛りつけと洗浄には一切入らなくなり、特別食と業務にばかり負担が多くなった。この問題の改善を求めて、団体交渉する予定。

【長野】

正職2名辞めて派遣3名入った。立て替えがあるから、黒字でも賃上げに繋がらない。

【高槻】

正職員の退職補充を嘱託でしているの、正職員より嘱託の方が多くなった。嘱託職員は仕事内容は正職員と全く一緒で手当関係等収入が少ない。人件費抑制がひどくなってきている。業務請負が入っているが職員が指示するなど偽装請負状態になっている。

【松江】

新病院になってから係長2人と主任1名が退職し係長不在で意見の統一とかまとめ役が居ないという状況でまとまりができていない。セントラルでは作業ができないので、4カ所のサテライトを職員が分散して回している。

【広島】

残業問題で組合で交渉して始業前時間外も残業もなくあがれるようになりよかった。朝が忙しかったが、前日の遅番の人が朝食の仕込みをできる限りするようにしたので、余裕ができた。

【庄原】

どんどん辞めていき人員不足。調理師で正職員は1人になった。退職補充で入ってくる人も仕事がなかなか覚えられない人も多い。安全性にも不安がある。人間関係も悪い。

【唐津】

職員4名の内下処理の業務を3人で回しているが、休み希望が重なったときの問題で、事務長から栄養士を含めて栄養科の中で考えるようにと言われている。しかし、栄養課長からは3人の内誰かが休みを返上して出るようにせよと言われて休めなかった。この問題を追及していく。

【長崎】

今までは臨時職員には調理はさせず正職員だけで調理していたが、それではやりくりが難しく、臨時職員に調理ができるよう育てている。

次回交流会について

全日赤 第18回給食部門全国交流集会

日時・・・2014年10月3日(金)13:30～4日(土)12:00

場所・・・「調整中」

現在交流会の内容については、ニュークックチル施設の見学を軸に、衛生管理についての学習やソフト食工場見学等を検討しています。

本部 TEL 03-3876-2186

担当河野、山口(銀)